

## 災害につよい村づくりに向けて



安全・安心で快適な観光地としての恩納村の観光ブランドを構築し、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を図るため、12月3日に赤間多目的運動場(ドーム)で役場職員を対象とした恩納村防災訓練を行いました。

図上シミュレーション訓練では、発災時に一人一人がやるべきこと、対応マニュアルの実効性の確認をすることができました。

また、発災直後の避難所を円滑に運営するための訓練や備蓄防災資機材の使用法の確認を行い、防災意識の高揚を図ることができました。

今後も関係機関、各自治会及び村内事業所などと連携を図り、災害につよい村づくりに努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 災害時における協定を締結しました

1月29日、沖縄電力(株)と「災害時における相互連携に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害発生時に相互に連携し、迅速かつ的確に対応することにより早期の停電復旧に取り組むことを目的としており、緊急連絡体制の構築、活動拠点の提供、停電情報の周知、倒木・樹木被害防止のための事前対策、障害物除去等について定めています。

今後も災害対策の更なる体制強化に向け、取り組みを進めていきます。



## 恩納村特産品レシピ集「わったーしまぬまーさむん」発行



恩納村商工会女性部(長堂タツ子部長)は、恩納村の地域資源であるアーサやモズクを使用した郷土料理や家庭料理のレシピ集を発行しました。

長堂部長は「これまでの活動をレシピ集としてまとめることで地域の郷土料理が親から子へ継承され、また県内外の多くの家庭でも広がっていくことを願っています」と話しました。長浜村長は「このレシピ集が恩納村に訪れた観光客の皆さまにも手にとっていただき、恩納村の魅力ある特産品が注目を集めることで農林水産業に携わる皆さんの励みにもなる。地域と連携して村を盛り上げていきたい」と述べました。

## 商工会全国大会 準グランプリを報告

第63回商工会全国大会21世紀商工会グランプリ部門で準グランプリを受賞した恩納村商工会が1月18日、長浜村長に受賞報告を行いました。

地域ブランド力の向上と会員ビジネスの拡大を目的に平成29年度より「恩納村ふるさと納税委託事業」を開始し、本村の強みである“観光関連商品”を地域の魅力を発信できる返礼品としました。同時に特産品の高付加価値化に向け商品開発や販路開拓など、持続化補助金を活用するなど伴走型で支援に取り組んできました。

長浜村長は「ふるさと納税事業においては、毎年納税者が増加し、恩納村の魅力が全国に発信されているものと確信しています。返礼品登録を機に事業者の経営力向上も図られるなど地域の課題解決にも取り組んでいただいている」と感謝が伝えられました。

